令和４年度　第１回　光明小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和４年4月２７日（水）　１３時３０から１５時３０分まで
２　開催場所　　光明小学校　１階　会議室
３　出席委員　　小倉　端、笹竹　和行、河島　秀夫、中谷　勲、小澤　房世、岡部　かおり
　　　　　　　　関島　貴浩、島　克寿
４　欠席委員　　なし
５　学　　校　　中野　主税（校長）、藤岡　政哉（教頭）、土屋　淳心（教員）
　　　　　　　　横山　貴美恵（校務アシスタント）
６　傍　聴　者　　なし
７　協議事項
（１）議長の選出について
（２）令和４年度学校運営の基本方針の承認
（３）重点的な取組や本校課題の具体的支援策について

８　会議録作成者　　校務アシスタント　横山　貴美恵
９　会議記録
藤岡教頭から、委員総数８人のうち８人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

（１）会長より、子供たちの応援団として闊達な意見交換をし、協議していきたいとの挨拶があった。

（２）校長より、昨年度のＣＳの活動や日頃の指導が行き届いているためか、光明小学校の児童は挨拶がきちんとできていると感じた。今年度は、より授業に沿った具体的な活動をしていきたいとの挨拶があった。

（３）校長より、新規委員へ任命書の交付があった。

（４）議長の選出については、岡部委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（５）教頭より、協議会の規則の説明と、令和３年度の学校運営協議会自己評価の紹介があった。

（６）校務アシスタントより、令和３年度第４回会議禄の概要について説明があった。

（７）校長より、令和４年度学校運営の基本方針について、別紙「笑顔」、「試すっ子」を用いて説明があった。
別紙「笑顔」のような家庭配付資料に、学校の方針・実態について発信することが大切と考え、今後も小まめに発信していく。
・生徒に試す人になれというかぎりは、教師も切磋琢磨し向上していける環境を目指す。
・日々様々な問題が発生するが、「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」をスローガンに、日や週をまたがずスピーディーに対応する。
・動と静の切り換えを大切にする。

・あらゆる人権を尊重する。まず、いじめられている子の心に焦点を当てる。そして、双方の心に寄り添う。（資料Ｎｏ２）
・笑顔で自ら挨拶できる子を推進していく。

別紙「試すっ子」を今年度は地域に回覧し共有します。
校訓「試す人になろう」を核に、学校運営をしていく。
「あったか、ていねい、あんしん」を目指す学校像とし、子供と教職員の笑顔輝く学校をめざす。
子供たちが規則正しく動けることは、子供たちにとってもいいこと。例えば防災訓練では真剣に、本番と同じように、本番は訓練と同じように。

（８）重点的な取組や本校の具体的な支援策について、別紙「学校応援団・外部講師等希望調査」を用いて、協議・意見交換した。
・挨拶の活動について、今年度どうするか。新たなボランティアの活動に重きを置くのか。（岡部委員）
・挨拶活動は昨年度の活動もあってか、現状ではできてきている。ただ、何もしないとできなくなってくる。そこが、難しいところだが、挨拶は規模が大きすぎるため、今年度は、一歩踏み込んでボランティアをやっていきたい。（校長）
・外部講師とは何をさしているのか。保護者・本委員・地域の皆さんの解釈でいいか。（河島委員）
・ボランティアの登録はどうするか。学校の要望に応じた支援ができるか。（河島委員）
・ボランティアデータをどう共有するか。（小倉会長）
・まずは保護者にボランティアしてほしい内容を通知し、保護者（卒業生の保護者も含め）ボランティアを募集する。（関島委員）
・昔の遊びなどは回覧などで地域のご年配の方へボランティア募集してもいい。（関島委員）
・ボランティアのやり方について、各たる物ができておらず、共有できていないので、少しずつ広げていきたい。（土屋）
・何ができるかのデータを収集すると、やり用の幅が広がる。卒業生徒の保護者も今後のボランティアへの参加をお願いできるよう登録するといいのでは。（河島委員）
・保護者も地域の方との窓口として対応して頂くと、より活動に広がりができる。（小澤委員）
・今回の資料以外のボランティアですが、鮎の放流や、蜂の巣取りなどシーズンによるものの講義もあってもいいかと思う。（中谷委員）
・ちょっとしたことのお手伝いからやっていき、ボランティアの垣根を下げることができるのでは。（中谷委員）
・学校が必要とするものを中心にボランティアをするといいと思う。（河島委員）
・授業だけでなくＣＳの活動により、子供たちを豊にするような活動ができればいいと思う。（教頭）
・６年生の選挙の授業で、投票箱（ジュラルミンケース）を見ただけで子供達から歓声が上がった様子を見ると、そういった実物をみることはいいこと。
・もののバンクもあると、子供達のくいつきもよくていいかも。（校長）
・外部講師として中心とするのではなく、教師の授業の中でやり方（手縫い、そろばん等）を見せるといったスタンスでいいか。（小澤委員）
・そのスタンスで大丈夫です。（校長）
・ＣＤさんの負担があるため、委員の皆さんがＣＤを助けていただきたい。（教頭）
・ボランティアバンクの集め方ですが、ボランティア内容の紙に書いた物を気軽に学校に設置した箱に投函したり、子供に託したりしたらいいのでは。（岡部委員）

・回覧でボランティア募集する際、募集用紙に学校が希望するボランティアの内容、得意なこと（今後のボランティアの参考）、用紙の提出方法等を書いておくといいのでは。
・沢山の意見が出てきて、できるのが不安になったが、１年でやろうとしたからだと思った。長いスパンでできることからやってきければいいと思う。（土屋）
・「募集した、やったこと、回覧で通知」の流れができればいいと思う。（土屋）
・ボランティアの募集は、その都度やっていければと思う。（関島委員）

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

その他連絡事項等

教頭から、今後の会議日程について説明があり、その後、夢を育む学校づくり推進協議会について概要の説明があった。

１５：３０頃協議会終了。

以上、この会議録が正確であることを証します。

令和４年　４月２７日